

TimeTracker セットアップガイド

サーバ編

【補足資料】

SQL Server 2000 インスタンス追加方法

2006 年 6 月

(株)デンソークリエイト



0. はじめに

このセットアップガイドは、「TimeTracker セットアップガイド サーバ編」では説明していない、SQL Server 2000 の設定や操作方法を補足するためのものです。

SQL Server 2000 の機能・操作の詳細については、別途 解説資料(市販書籍や Web サイトなど)をご覧ください。SQL Server 2000 導入元のパートナー企業、あるいは開発元であるマイクロソフト社までお問い合わせください。

全体的な流れは、以下のように 2 ステップに分かれます。

これらの作業は、既存の SQL Server 2000 がインストールされたサーバーマシンで行ってください。

Step.1 SQL Server 2000 のインスタンスを追加する

Step.2 Enterprise Manager に、追加したインスタンスを登録する

注意： 本作業を行うには、OS の管理者権限が必要です。

注意： 既存の SQL Server 2000 上で動作しているアプリケーションに影響を及ぼす可能性があります。

予期せぬ事態に備え、作業前に「サーバのバックアップ」や「アプリケーションの停止」を行う事をご検討ください。

本書は、SQL Server 2000 に関する動作を保証するものではありません。
また、ご利用の環境によっては、本書のとおり動作しない可能性もあります。

本書は予告なしに改訂をする場合があります。



1. SQL Server 2000 のインスタンスを追加する

ここでは、既存の SQL Server 2000 に TimeTracker 用のインスタンスを追加します。

SQL Server 2000 の、製品 CD-ROM をお手元にご準備ください。

1.1. Enterprise Manager の終了

Enterprise Manager が起動している場合は、それを終了させてください。

1.2. SQL Server 2000 インストーラの起動と作業の選択

サーバマシンの CD-ROM ドライブに、SQL Server 2000 の製品 CD-ROM をセットしてください。
CD-ROM 内のインストーラが自動的に起動して、図 1 に示す画面が表示されます。



図 1 SQL Server 2000 インストーラ

ここで、画面上の [SQL Server 2000 コンポーネント] の項目をクリックしてください。

お使いになられている OS の設定によっては、CD-ROM をセットしても SQL Server 2000 インストーラが自動的に起動しません。
そのような場合は、エクスプローラから CD-ROM ドライブを参照して、格納されている実行ファイル "Autorun.exe" を手動で実行してください。

1.3. コンポーネントの選択

図 2 に示すコンポーネントの選択画面が表示されます。



図 2 SQL Server 2000 コンポーネントの選択

ここで、画面上の [データベース サーバのインストール] の項目をクリックしてください。

1.4. インストールウィザードの起動

図 3 に示すインストールウィザード画面が表示されます。

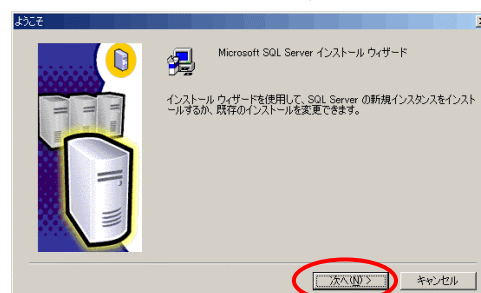


図 3 SQL Server 2000 インストールウィザード

ここで、[次へ] ボタンをクリックしてください。

1.5. SQL Server 作成先の選択

図 4 に示す SQL Server 作成先の選択画面が表示されます。

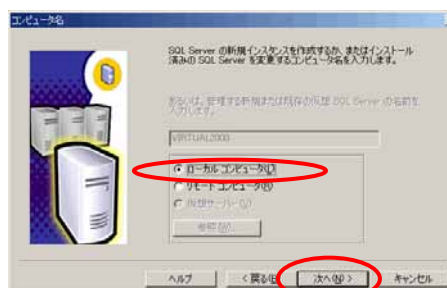


図 4 SQL Server 2000 SQL Server 作成先の選択

ここで、[ローカルコンピュータ] を選択して、[次へ] ボタンをクリックしてください。

インストールオプションの選択

図 5 に示すインストールオプションの選択画面が表示されます。

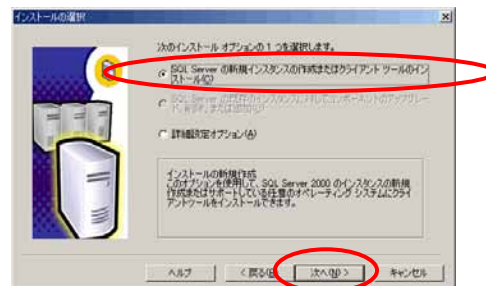


図 5 SQL Server 2000 インストールオプションの選択

ここで、[SQL Server の新規インスタンスの作成またはクライアント ツールのインストール] を選択して、[次へ] ボタンをクリックしてください。

1.6. ユーザー情報の入力

図 6 に示すユーザー情報の入力画面が表示されます。

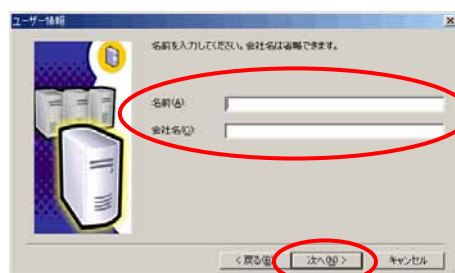


図 6 SQL Server 2000 ユーザー情報の入力

ここで、必要事項を入力の上、[次へ] ボタンをクリックしてください。

1.7. 使用許諾契約書

図 7 に示す使用許諾契約書画面が表示されます。

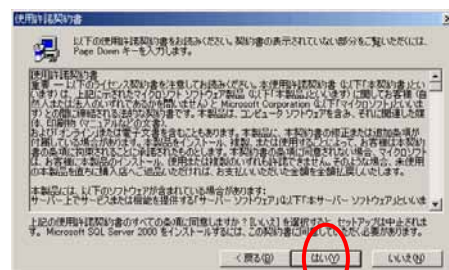


図 7 SQL Server 2000 使用許諾契約書

ここで、画面上の指示に従い、すべての条項に同意するなら、[はい] ボタンをクリックしてください。

1.8. CD キー

CD キーを入力し、[次へ]をクリックしてください。

1.9. インストールの定義

図 8 に示すインストールの定義画面が表示されます。

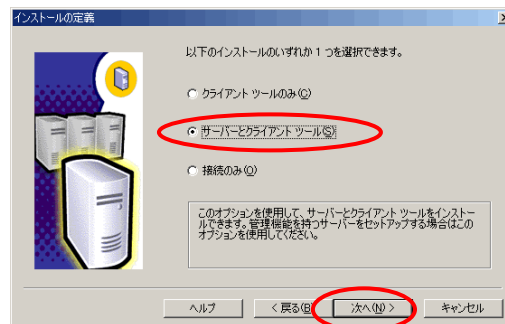


図 8 SQL Server 2000 インストールの定義

ここで、[サーバとクライアントツール] を選択して、[次へ] ボタンをクリックしてください。

1.10. 追加するインスタンス名の入力

図 9 に示すインスタンス名の入力画面が表示されます。

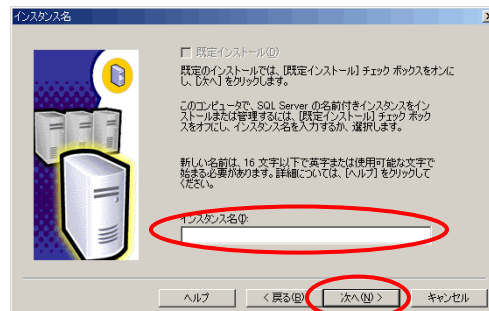


図 9 SQL Server 2000 インスタンス名の入力

ここで、既定のインスタンスが既に作成されていれば、[既定インストール] チェックボックスは無効にされています (操作できません)。代わりに [インスタンス名] が有効になっているので、適切なインスタンス名を入力して、[次へ] ボタンをクリックしてください。

推奨インスタンス名: TIMETRACKER

[インスタンス名] の設定についての詳細は次の【インスタンスの補足】をご参照下さい。

【インスタンスの補足】

例として、[インスタンス名] に “TI METRACKER” を入力したケースにおける SQL Server の名前は、次のようになります。

SERVERPC¥TI METRACKER (“SERVERPC” はサーバマシン名)

[既定インストール] が有効 (操作可能) であれば、インスタンス名を入力する代わりに、[既定インストール] を指定しても構いません。その場合、この後作成する SQL Server の基となるインスタンスは、「既定のインスタンス」という扱いになります。既定のインスタンスは、インスタンス名を入力する必要がありません (省略されます)。

例として、このケースにおける SQL Server の名前は、次のようになります。

SERVERPC (“SERVERPC” はサーバマシン名)

注意

1つの SQL Server 2000 内では、全ての SQL Server の名前はユニーク (重複しない) である必要があります。

また、ここで設定するインスタンス名 (SQL Server の名前) は、この後の TimeTracker 本体のインストール作業で必要となります。設定した値を忘れずに控えてください。

1.11. セットアップの種類

図 10 に示すセットアップの種類画面が表示されます。

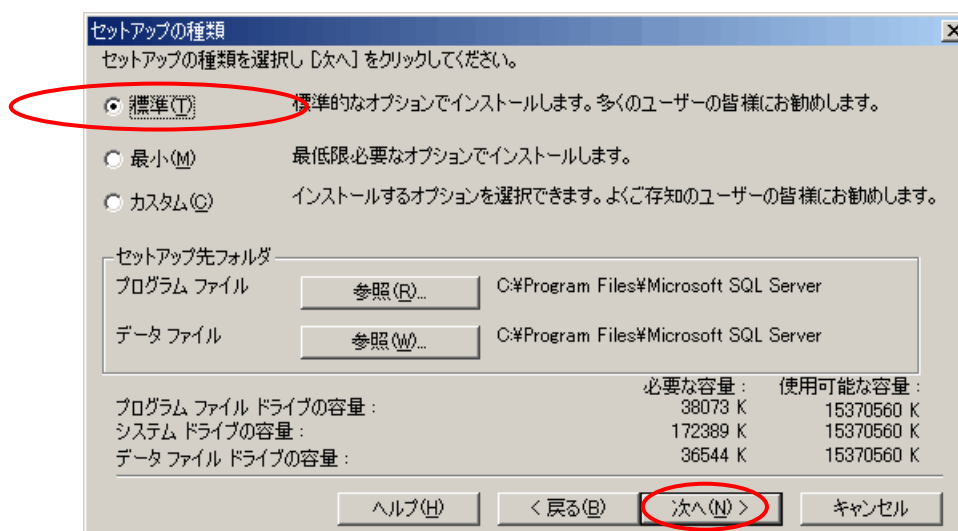


図 10 SQL Server 2000 セットアップの種類

ここで、[標準] を選択して、[次へ] ボタンをクリックしてください。

1.12. サービスアカウントの設定

図 11 に示すサービスアカウントの設定画面が表示されます。

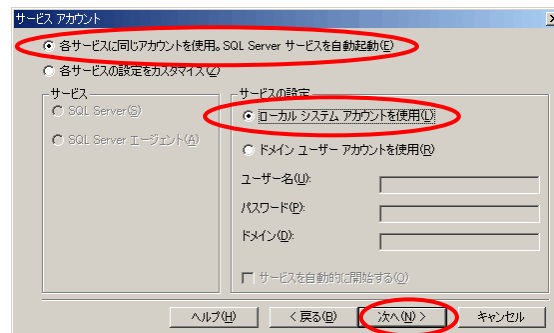


図 11 SQL Server 2000 サービスアカウントの設定

ここで、[各サービスに同じアカウントを使用。SQL Server サービスを自動起動] を選択して、さらに [サービスの設定] グループ内で [ローカル システム アカウントを使用] を選択したうえで、[次へ] ボタンをクリックしてください。

サービスを動作させるアカウントについてルールが設けられている場合は、そのルールに従ったアカウントで動作させてください。

1.13. 認証モードの設定

図 12 に示す認証モードの設定画面が表示されます。

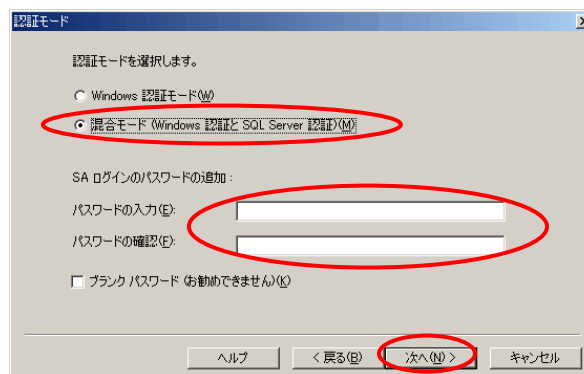


図 12 SQL Server 2000 認証モードの設定

ここで、[混合モード (Windows 認証と SQL Server 認証)] を選択して、さらに [SA ログインのパスワードの追加] にて [パスワードの入力]・[パスワードの確認] を入力したうえで、[次へ] ボタンをクリックしてください。

セキュリティ管理上、[ブランク パスワード (お勧めできません)] チェックボックスにはチェックを入れず、適切なパスワードを設定することをお勧めします。
また、ここで設定する SA のパスワードは、この後の TimeTracker 本体のインストール作業で必要となります。設定したパスワードを忘れずに控えてください。

1.14. ライセンスモードの選択

図 13 に示すライセンスモードの選択画面が表示されます。

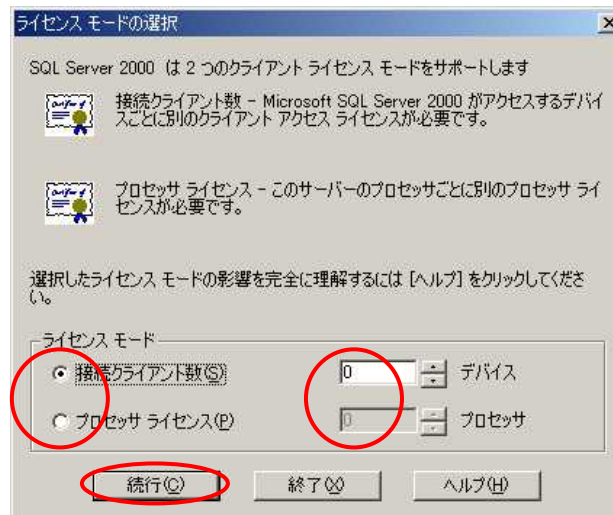


図 13 SQL Server 2000 ライセンスモードの選択

ここで、ご購入された SQL Server 2000 のライセンスに従った適切な値を入力して、[続行] ボタンをクリックしてください。

SQL Server 2000 Standard Edition を接続クライアント数でご利用の場合、インスタンスを追加するには、サーバライセンスが新たに必要になります。Enterprise Edition をご利用の場合は、16 個までインスタンスを追加できます。

プロセッサライセンスをご利用の場合は、インスタンス数に制限はありません。

詳細はマイクロソフト社の Web サイトをご参照ください。

1.15. ファイルコピーの開始

図 14 に示すファイルコピーの開始画面が表示されます。

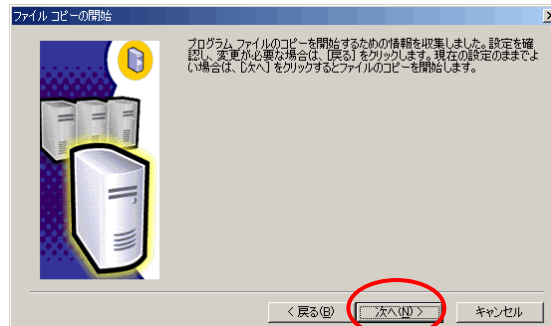


図 14 SQL Server 2000 ファイルコピーの開始

ここで、そのまま [次へ] ボタンをクリックしてください。

SQL Server 2000 のインストール処理が開始されます。

1.16. セットアップの完了

SQL Server 2000 のセットアップが終了すると、図 15 に示すセットアップの完了画面が表示されます。

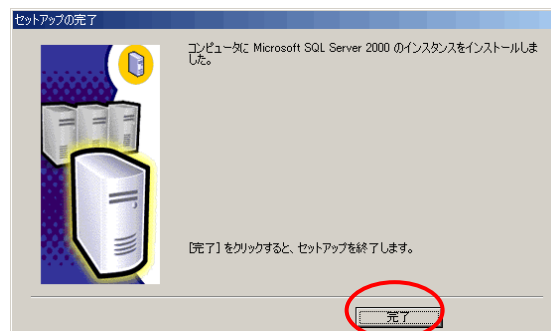


図 15 SQL Server 2000 セットアップの完了

ここで、[完了] ボタンをクリックしてください。

これで SQL Server 2000 へのインスタンスの追加は完了です。
「2. Enterprise Manager に、追加したインスタンスを登録する」にお進みください

2. Enterprise Manager に、追加したインスタンスを登録する

追加したインスタンスは、動作はしていますが Enterprise Manager に登録されていません。今後の管理のために、Enterprise Manager へ登録します。

2.1. Enterprise Manager の起動

Enterprise Manager を起動してください。続いて、左側のツリーの [SQL Server グループ] ノードを展開してください。このときの Enterprise Manager の表示例を、図 1 に示します。

この時点では、追加した SQL Server のノードが [SQL Server グループ] ノード下に登録されていないことがわかります。

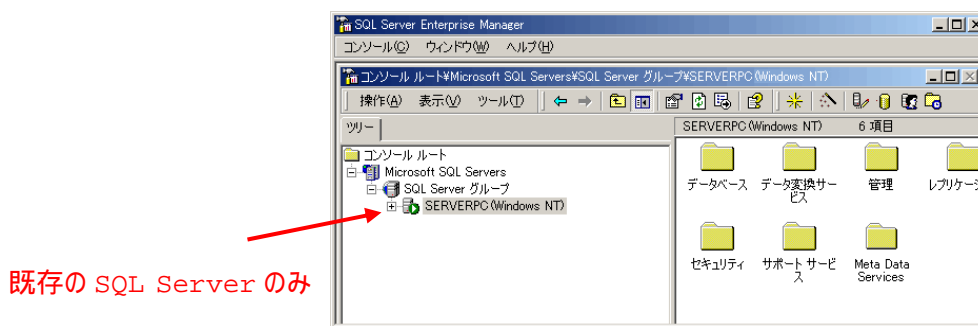


図 1 SQL Server 2000 インスタンス登録前の Enterprise Manager の表示

2.2. SQL Server の新規登録

[SQL Server グループ] ノードを選択して、そのまま右クリックでポップアップメニューを表示してください。このときの Enterprise Manager の表示例を、図 2 に示します。

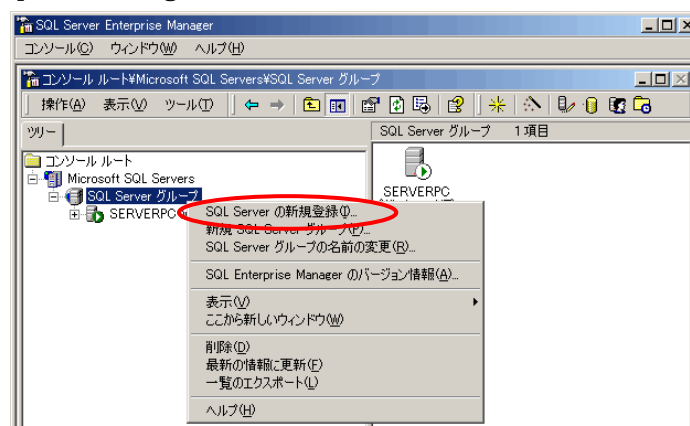


図 2 Enterprise Manager SQL Server の新規登録

ここで、メニュー項目のうち [SQL Server の新規登録] をクリックしてください。

2.3. SQL Server 登録ウィザードの起動

図 3 に示す SQL Server 登録ウィザードが表示されます。



図 3 Enterprise Manager SQL Server 登録ウィザード

ここで、そのまま [次へ] ボタンをクリックしてください。

2.4. 登録する SQL Server の選択

図 4 に示す登録する SQL Server の選択画面が表示されます。左側の [使用できるサーバ] には、SQL Server 登録ウィザードが検出した、登録可能な SQL Server が一覧表示されます。

この画面では、[使用できるサーバ] 内にある、ここまでに作成した SQL Server を、[追加されたサーバ] に移動させることで、登録対象に加えます。

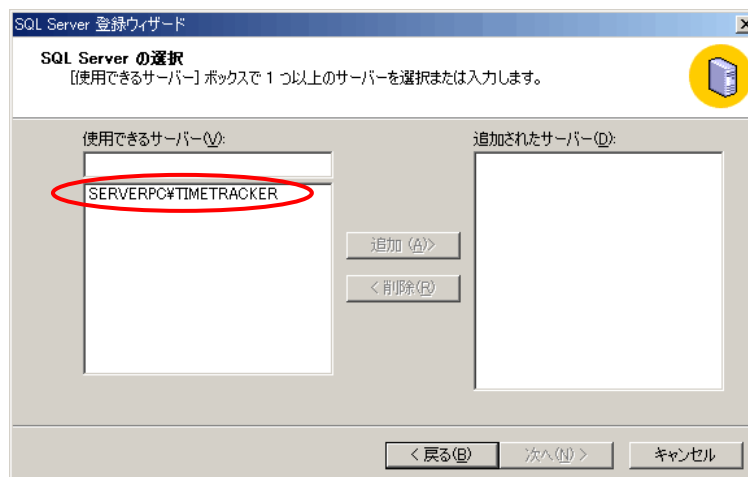


図 4 SQL Server 登録ウィザード 登録する SQL Server の選択 (1)

図 4 では、追加した SQL Server (名前は “SERVERPC¥TIMETRACKER”) が検出されていることがわかります。ここでは、この項目を選択してください。

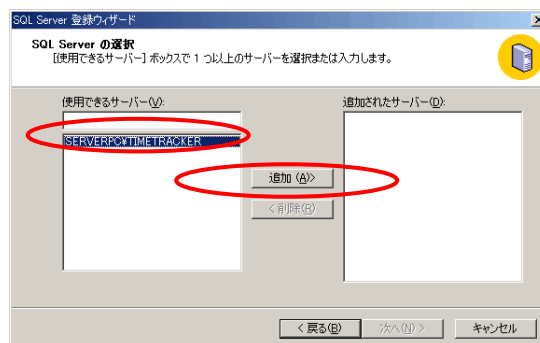


図 5 SQL Server 登録ウィザード 登録する SQL Server の選択 (2)

目的の SQL Server の項目を選択する(図 5)と、中央にある [追加] ボタンが有効(操作可能)になります。ここでは、このボタンをクリックしてください。

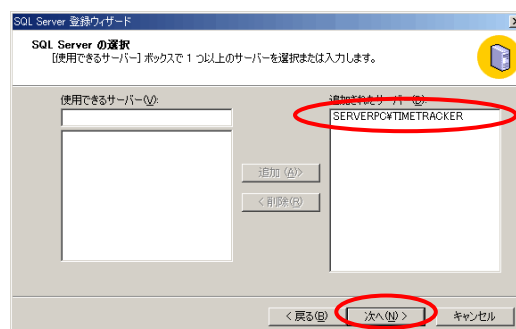


図 6 SQL Server 登録ウィザード 登録する SQL Server の選択 (3)

[追加] ボタンをクリックする(図 6)と、目的の SQL Server の項目が [追加されたサーバ] に移るとともに、[次へ] ボタンが有効(操作可能)になります。ここでは、[次へ] ボタンをクリックしてください。

2.5. 認証モードの選択

図 7 に示す認証モードの選択画面が表示されます。

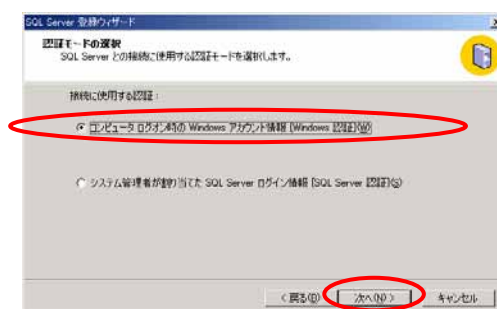


図 7 SQL Server 登録ウィザード 認証モードの選択

ここでは、[コンピュータ ログオン時のアカウント情報 [Windows 認証]] の項目を選択して、[次へ] ボタンをクリックしてください。

2.6. SQL Server グループの選択

図 8 に示す SQL Server グループの選択画面が表示されます。

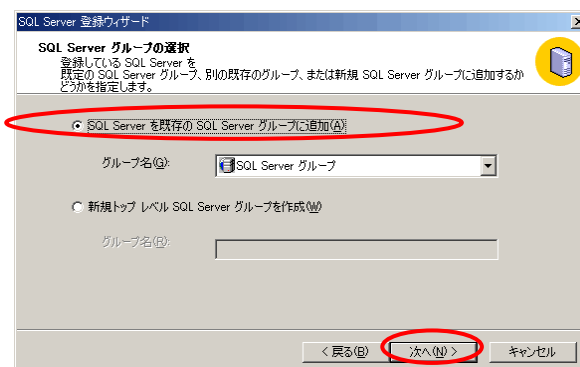


図 8 SQL Server 登録ウィザード SQL Server グループの選択

ここでは、[SQL Server を既存の SQL Server グループに追加] の項目を選択したうえで、[グループ名] ドロップダウンリストでは「SQL Server グループ」のままにして、[次へ] ボタンをクリックしてください。

2.7. ウィザードの完了と SQL Server 登録処理の実行

図 9 に示すウィザードの完了画面が表示されます。

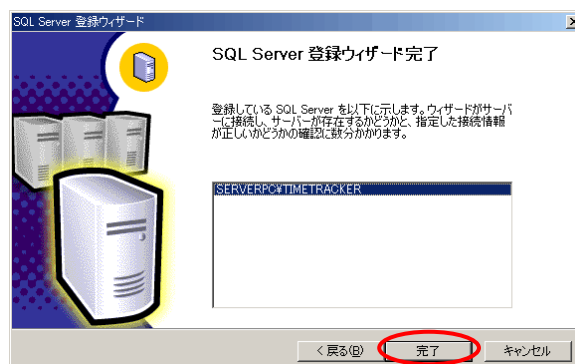


図 9 SQL Server 登録ウィザード 完了

ここでは、[完了] ボタンをクリックしてください。SQL Server の登録処理が実行されます。

2.8. SQL Server 登録メッセージ

しばらく経った後、図 10 に示す SQL Server 登録メッセージ画面が表示されます。図 10 の表示内容は、SQL Server の登録処理に成功したことを表しています。

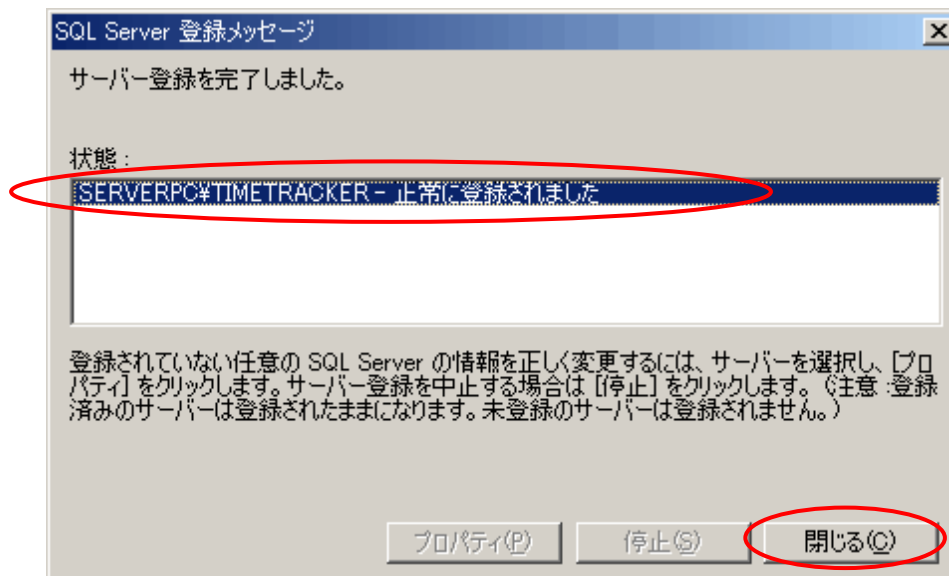


図 10 Enterprise Manager SQL Server 登録メッセージ

ここでは、[閉じる] ボタンをクリックして、このまま終了してください。

2.9. SQL Server 2000 への SQL Server 登録結果の確認

登録した SQL Server が SQL Server グループの管理下にあることを確認します。

Enterprise Manager を起動し、[Microsoft SQL Servers] の [SQL Server グループ]を開いてください。図 11 に示すとおり、SQL Server が複数表示されていて、その中の1つに「2.4 登録する SQL Server の選択」にて選択した SQL Server が登録されていれば完了です。

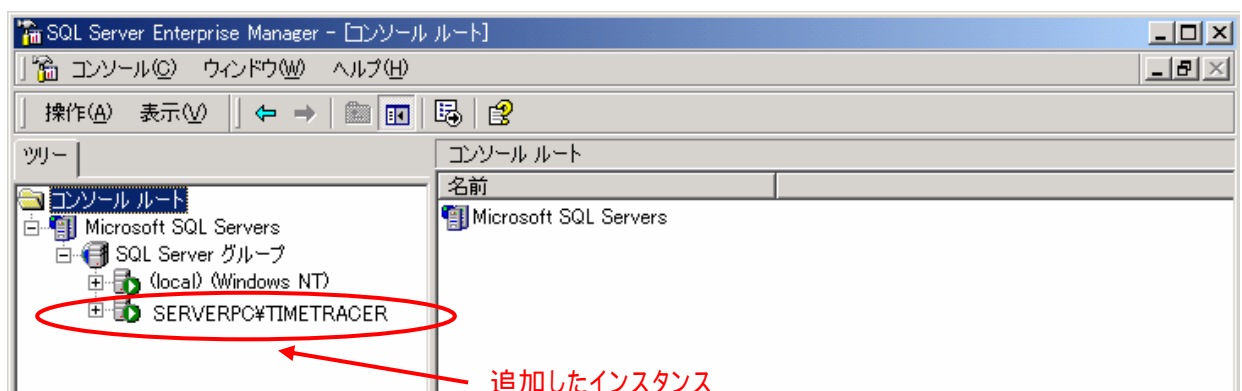


図 11 SQL Server 2000 インスタンス登録後の Enterprise Manager の表示

これで SQL Server 2000 のインスタンスの追加は完了です。

引き続き TimeTracker のインストールを続けてください。

次は「TimeTracker セットアップガイド サーバ編」の「Step3. データベースを作成する」をご参照下さい。

このドキュメントに記載されている情報 (URL 等のインターネット Web サイトに関する情報を含む) は、将来予告なしに変更することがあります。

Microsoft、Windowsまたは、その他マイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

その他、記載された社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

以上

